

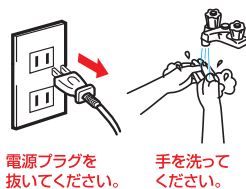
## 7 お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さまご自身によるお手入れです。特にペットを室内で飼っている場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。

### 1) 普段のお手入れ



お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いて、手を洗ってください。濡れた手でお手入れはしないでください。お手入れには台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。



電源プラグを抜いてください。手を洗ってください。

#### ①頻繁に行っていただくお手入れ

##### a. ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)

- ボトル差込口に水が溜まっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
- 水がたまったままボトルをセットすると、水が飛散したり、思わぬ場所から漏れ出す恐れがあります。
- ボトル交換のたびに、ボトルガイドを取り外して水がたまっていないかご確認いただき、水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。



水がたまっている。汚れが付着している。

##### b. 冷・温水注水口 (一日一回以上)

注水口の吐水口は外して洗うことができます。



水受皿は手前に引っ張ると取り外しできます



温水注水口は熱くなっていることがあります。火傷に注意してください。

##### c. 水受皿(一日一回以上)

食器洗いで中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。

#### ②定期的に行っていただくお手入れ

##### a. 本体外面とボトルカバー(一週間に一回程度)

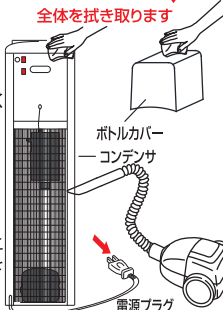
清潔なタオル等で乾拭きしてください。汚れがひどい時は食器洗いで中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。

##### b. 背面部分(コンデンサ)(一週間に一回程度)

ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。ホコリが付着すると冷却能力が低下します。やわらかいブラシや掃除機等で掃除してください。

##### c. 電源プラグ(一週間に一回程度)

電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象がおこり、発煙発火することがあります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。



全体を拭き取ります

ボトルカバー  
コンデンサ

電源プラグ

### 2) 内部クリーンについて

内部クリーンはウォーターサーバー内の冷水タンクに温水を循環させて、殺菌を行い、内部の環境を衛生的に維持します。週に1度を目安にご使用ください。

内部クリーンを2週間以上実施しないと、クリーン灯が点滅します。内部クリーンを実施してください。

操作方法は『4-9) 内部クリーン』参照。

### 3) 長時間使用されない場合のお手入れ

#### お願い

ウォーターサーバーを長期間使用されない場合は、水が不衛生になる可能性があります。2週間以上使用しない状態にならないよう採水を行ってください。1ヶ月以上使用しない時は、販売店、または取扱店に連絡し、メンテナンス(有償)を依頼してください。



作業を行なう前に必ず背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をOFFにしてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。※この作業はすみやかに行って下さい。

#### ①ウォーターサーバーからボトルを外す。

(『5-4) ボトルの取り外し方』参照)

#### ②熱湯が冷めるのを待つ(ホットスイッチOFFから60分以上)。

火傷する恐れがありますのでご注意ください。

#### ③温水注水口からコップ等に水を汲み、冷めているか確認する。

#### ④冷水注水口をバケツ等で受けて、注水口を開き、冷水を完全に抜く。

#### ⑤背面の温水ドレン口をバケツ等で受けて、温水ドレン口のキャップを外し、温水を完全に抜く。

熱湯が出る場合がありますのでご注意ください。

#### ⑥温水ドレン口を開けて、電源プラグも抜く。

#### ⑦ボトル差込口、冷水注水口、温水注水口、水受皿等の掃除を行う。

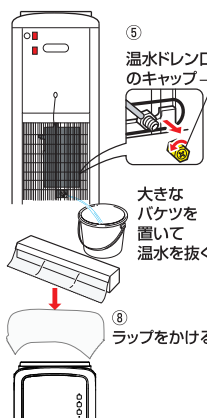
(『7. お手入れ方法と日常点検』参照)

#### ⑧ウォーターサーバー上面のウォーターガードを食用ラップ等

をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。(ラップフィルムがずれないようにテープ等で固定する)

#### ⑨注水口も食用ラップ等で養生してホコリが付着しないようにする。

#### ⑩直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。



温水ドレン口のキャップ

大きなバケツを置いて温水を抜く

ラップをかける

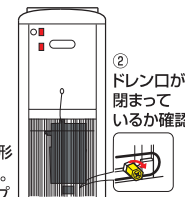
### 4) 再び使用を開始される場合

再び使用を開始される場合は、メンテナンスが必要な場合がありますので販売店、または取扱店にご相談ください。

#### お願い

再び使用を開始されて、万一味やにおいに異常を感じられたら、販売店、または取扱店に連絡いただき、機器のメンテナンス(有償)を依頼してください。

- ①ウォーターサーバーのラップを取る。
- ②背面の温水ドレン口が閉じられているか指で軽く回して確認する。
- ③ボトルの差込口、冷水注水口、温水注水口、水受皿等の掃除を行なう。(『7. お手入れ方法と日常点検』参照)
- ④ウォーターサーバー本体に汚れや破損がないか点検する。
- ⑤ウォーターサーバーにボトルを差し込む。(『5-5) ボトルの取り付け方』参照)
- ⑥水がサーバーに入っていくとボトルが変形して潰れていきます。変形が止まるまで(1分程度)の間、水漏れがないことを確認してください。
- ⑦背面のHOT S/W(ホットスイッチ)がOFFになっていること、電源プラグにホコリが付着していないことを確認し、コンセントに差し込む。
- ⑧タッチパネルの[温水]を3秒以上長押ししてください。HOT灯が点滅します。HOT灯が点滅中に、温水注水ボタンを押します。水が出てきたらエア抜き完了です。
- ⑨冷水・温水の注水口よりコップ2杯分以上の水を取水して捨ててください。
- ⑩水漏れなど不具合が無い確認する。
- ⑪背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をONにする。
- ⑫トップカバーの上にボトルカバーを乗せる。
- ⑬適温になるまで30~40分待ってご利用ください。室温により適温までの時間が長くなることがあります。



② ドレン口が開まっているか確認

#### お願い 安全にお使いいただくために以下の項目も確認してください。

- ①電源コードや電源プラグが変色したり、異常になっていないか。
- ②電源コードに傷や変形が無い。
- ③焦げくさい臭いがないか。
- ④電源コードが重いもの下敷きになっていないか。
- ⑤電源プラグの刃先にホコリがたまっていないか。  
以上のような状態があった場合は、感電事故や火災の原因になりますので特にご確認ください。
- ⑥ボトルがウォーターサーバーにしっかりと装着されているか。斜めになっていないか。
- ⑦温水ドレン口や各注水口から水漏れはないか。
- ⑧ウォーターサーバーの下部やまわりに水漏れしていないか。  
以上のような状態があった場合は、感電事故や二次被害のおこる原因となりますので特にご確認ください。